

平成 29 年度 研究成果報告書
Research Achievement Report FY2017

講座名・職名 Course Title・Job Title	日本語・日本文化専攻 教授
氏名 Name	今井 忍
専門分野 Academic Field	言語学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	日本語の形態法に関する認知言語学的研究
<p>29 年度は、除去動詞の振る舞いについて、研究を行った。現在、除去動詞を明確に規定するために、コーパスを使った帰納的な方法について検討した。英語については、out を含む句動詞と共起する動詞、日本語では「出す」を後項とする複合動詞の前項動詞を抽出することである程度除去動詞を規定できることが分かった。同様の方法が日本語と英語以外にも適用可能であるかどうかについて検討を行った。</p> <p>一方、スラバヤ国立大学（インドネシア）で 3 月 20 日に開催された「第 7 回インドネシア人研究者との合同研究発表会－日本語研究と日本語教育の効果的な相互乗り入れへの展望－」において、Keynote Speaker として「構文文法・コーパス・日本語教育」というタイトルで講演を行った。この講演では、構文文法と日本語教育がコーパスを通して互いに貢献する可能性について、事例研究を通して概観した。</p> <p>Onomasiological Approach による語種の研究については、文献の調査とデータ収集を引き続き行った。</p>	